

平成20年4月7日

# 学校だより

～ 塩っ子の夢と希望を育むために ～

No.1

高松市立新塩屋町小学校

TEL 851-2011

FAX 851-2059

e-mail e-sinnsio@edu-tens.net

平成20年度のはじまりにあたって

校長 池田 保

本校の歴史を感じさせられる正門に、今年も満開となったさくらが美しく咲き誇っています。4月1日、人事異動により7名の職員を本校に迎えました。そして、4月7日、1学年進級した子どもたちが、元気よく目を輝かせながら登校し、新しい年度がスタートしました。10日の入学式では、22名の新1年生を迎えることになっていますので、全校児童が165名になる予定です。



学校は子どもたちの笑顔や歓声が絶えることのない所であってほしいと願っています。教職員一同、一人一人の子どもたちに向き合い、子どもたちの夢と希望、そして、生きる力を育んでいく魅力ある学校づくりに努めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

## 《本年度の重点課題等について》

昨年度末の高松市議会において、新設統合校の校名・愛称が議決され、4月4日には、新校舎等の建設が行われる松島小学校のグラウンドにおいて、工事の安全祈願祭が行われました。これにより、学校の統合や9年間を見通した小中一貫教育の推進が大きく動き出したといえます。平成21年4月には、城内・光洋中学校が先行統合し、本校からも最初の入学を送り出すことになっています。そして、平成22年4月には、本校と築地・松島小学校が統合し、高松市で初めての小中一貫校が誕生することになっています。このような数年先を見通した本校の状況やこれまでの塩っ子教育の成果を受け継ぎ、そして、学習指導要領の改訂等の教育改革をふまえ、目の前の子どもたちの望ましい成長に向けた学校経営を進めていきたいと考えています。

子どもたちの学校生活の基盤はそれぞれの学級だといえることから、認め合い・支え合うなかまづくりを視点としての学級づくりを子どもたちとともにしっかりと考え合っていきます。その学級づくりの上にとって、①学び合う学習を通しての確かな学力の育成（その学年での基礎的・基本的な知識技能の確実な習得とその活用、学習意欲の向上）②豊かな心の育成（多様な教育活動を通して、自分が好き・塩っ子のなかまが好きといった、自己理解・相互理解に基づく望ましい集団形成）を今年度の重点課題と考えています。詳しくは、PTA総会等でお知らせいたします。

また、本年度の塩っ子教育の実践の経過については、この紙面や団だより等の各種たよりでお知らせするとともに、1日学習参観デーや行事を通して、保護者の皆様や地域の方々に発信してまいります。地域の中の学校として、子どもたちの夢や希望、生きる力を育んでいくには、学校と家庭・地域の連携が欠かせないと考えておりますので、学校の応援団としてのご意見等を遠慮なくお知らせください。